

Kirsten Koester

from Germany [Die kleinen Strolche]

ミッキーマウスも
びっくりの大きな足と、
表情豊かな首の動き。
見る人の心を楽しませてくれる
ユニークなベアは、
バルト海に面した
小さな村で生まれました。



1



4



5



6

- 1 Gioranni
- 2 Antonio & Vivaldi
- 3 O'Brian
- 4 Cassius
- 5 Harrison
- 6 Snoops



Kirsten Koester

「Die kleinen Strolche」
Borsbueller Ring 15
D-25821 Breklum
Germany
TEL. +49-4671-4905
e-mail : Kirsten.Koester@t-online.de
<http://home.t-online.de/home/Kirsten.Koester/>



TITA2001 / ミネート



3



2

2年間のベア作り修行

幼い頃からハンド・クラフトが大好きで、編み物や機織、フェルト手芸、レース編みなどなどいろいろなことに興味をもってチャレンジしてきました。そんな子供だった私のベストフレンドは、両親から与えられたテディベアでした。そのベアと自分が手作りした当時の作品は、今でも大切に飾っています。

2番目の娘が生まれた時、教師の仕事辞めて主婦業に専念しました。ようやく自分の時間がもてるようになると、またハンドクラフトにチャレンジしてみましたと思うようになりました。そんな時、姉がテディベアの型紙をプレゼントしてくれたのです。その型紙を使つてできたベアは、「テディベア」というにはあまりにもほど遠い仕上がりとになりましたが、なぜか下の娘がとても気に入ってくれました。テディベア作

ネットを通じて世界中にお披露目!

りのおもしろさを知ってからというものが、テディベアマガジンを購読し、その付録に付いている型紙を使つてベアを作り続けました。また、いろいろなテディベアショーに足を運んで、アーティストの素晴らしい作品から多くのことを学びました。2年間コツコツと勉強して、基本的なことをマスターした私は、ようやくオリジナルのデザインでテディベアを作つてみることにしました。

テディベアをデザインするにあたって、特に気をつけているのは首まわり。首がどのように動くかによつてベアの表情が全然違つてくると思うからです。そしてもう一つの特徴は、大きな足。見た目はちよつとゴツイのですが、触り心地はとつてもソフトに仕上げています。

この大きな足が、ベアにコミカルな表情を与えてくれていると思いませんか? ベアを作っている間に次のアイデアが浮かんでくるので、一つの型紙で何体も作るということはないです。その方が一体気持ちは込めて作れるし、きつともらつて下さる方にとつても価値があるのではないかと思うのです。

1999年にホームページを立ち上げました。なかなか海外のショーに参加する事はできませんが、インターネットを通して世界中の人々にドイツの小さな村で生まれた私のベアを見てもらう事ができるようになったので、さらにベア作りに張り合いが出て来ました。日本の皆さんも是非アクセスしてみてくださいね。